

声優芸能科 俳優養成コース 受講科目一覧 1年次

文化・教養専門課程（文化・教養分野）

1 単位時間

45分

| 授業科目 | | 年間授業 時間数 | 週授業 時間数 | 単位数 |
|------|--------------|-------------|------------|-----|
| 講義 | 業界知識 I | 72 | 2 | 4 |
| 講義 | 身体感情表現 I | 68 | 2 | 4 |
| 講義 | 音声技法 I | 68 | 2 | 4 |
| 講義 | 言語感情表現 I | 68 | 2 | 4 |
| 演習 | 課題台本ゼミナール I | 68 | 2 | 4 |
| 講義 | ヴォーカル基礎知識 I | 68 | 2 | 4 |
| 実習 | ヴォーカル I | 68 | 2 | 2 |
| 演習 | ボディサイエンス I | 68 | 2 | 4 |
| 実習 | ダンス基礎 | 68 | 2 | 2 |
| 演習 | 表現パフォーマンス I | 68 | 2 | 4 |
| 講義 | 俳優基礎 I | 68 | 2 | 4 |
| 実習 | 映像演技 I | 68 | 2 | 2 |
| 実習 | 分野別実習 I (前期) | 34 | 2 | 1 |
| 実習 | 分野別実習 I (後期) | 34 | 2 | 1 |
| 合計 | | 888 | 26 | 44 |

専門学校ESPエンタテインメント福岡

| 授業科目名 | オンデマンド I | | 授業形態 / 必選 | 講義 | 必修 |
|---|------------------------------------|--------|-----------------------------|---|-----|
| | 学則別表上表記 | 業界知識 I | 年次 | 1年次 | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 36回(72単位時間) | 年間単位数 | 4単位 |
| 科目設置学科コース | ■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース/俳優養成コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | | 該当 <input type="checkbox"/> | 非該当 <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 担当講師 実務経歴 | | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 音楽業界に関わる様々な業種について理解を深めることで、音楽業界の仕組みを学ぶ。 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 前期では音楽業界の中心となるプロダクション、レコード会社、音楽出版社の役割とコンサート業界、レコーディング業界の仕事情形について学びます。 後期では音楽ビジネスに関わる権利、著作権、印税の仕組み、著作物について学びます。 | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------|---|
| 【前期】 1～3回目 | 音楽業界の仕組み① 音楽業界のお仕事～プロダクションの働きについて理解する 音楽業界の仕組み② レコード会社の働きについて理解する 音楽業界の仕組み③ 音楽出版社とJASRACの働きについて理解する |
| 【前期】 4～7回目 | イベント・コンサート業界の仕組み イベント・コンサートに関わる各セクションの仕事について理解する コンサート制作の仕事 イベントやコンサート制作会社の働きについて理解する コンサートスタッフの仕事 舞台監督や各業種の仕事情形について理解を深める コンサート関連の技術系の仕事の流れ PA・照明・ローディーの仕事の流れについて理解を深める |
| 【前期】 8～10回目 | 業界用語と舞台用語 業界や現場で使われる用語を理解する 音源制作の仕事① CDが出来るまでの流れと楽曲発注について理解する 音源制作の仕事② プリプロ～レコーディングの流れを理解する |
| 【前期】 11～13回目 | 音源制作の仕事③ マスタリングについて理解を深める 音源制作の仕事④ ジャケット制作について理解する 音楽ビジネスの現状 変化する音楽産業とミュージシャンの収入について |
| 【前期】 14～17回目 | ここまでのまとめとテスト 前期テスト テストの解説 |
| 【後期】 18～20回目 | 音楽ビジネスに関わる権利 ① ミュージシャンに関わる権利について理解する 音楽ビジネスに関わる権利 ② 著作権について理解する 音楽ビジネスに関わる権利 ③ 実演家とレコード製作者の両方に認められている権利について理解する |
| 【後期】 21～24回目 | 音楽ビジネスに関わる権利 ④ 原盤について理解する 著作権管理事業の現状 著作権管理事業について理解する JASRACの問題点 JASRACの功罪などについて理解する 著作物に関わる印税の仕組み① CD販売の場合の著作権使用料による印税収入などについて理解する |
| 【後期】 25～27回目 | 著作物に関わる印税の仕組み ② 動画投稿(共有)における著作権使用料などについて理解する 著作物に関わる印税の仕組み ③ 放送使用における著作権使用料について理解する 著作隣接権に関わる印税の仕組み アーティスト印税の計算などについて理解する |
| 【後期】 28～30回目 | 著作権にまつわる問題点 インターネットの普及でばら撒かれる海賊版の氾濫などについて理解する 著作物を利用する方法① ビジネス契約と著作権～「所有権」と「著作権」について理解する 著作物を利用する方法② 著作物の自由利用について理解する |
| 【後期】 31～34回目 | ここまでのまとめとテスト 後期テスト テストの解説 |
| 評価方法 | 前期試験、後期試験ともに筆記試験を実施し、S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価を行う。 |
| 学生へのメッセージ | 仕事情形の伝わりにくい業界ですので、これをキッカケに興味を広げ、自身でも積極的に調べるようにしていきましょう。 |
| 備考 | HRも兼ねるため、日常の連絡業務や学校行事のプリント配布、アンケート調査、就職ゼミなどが実施される週もある。 |

専門学校ESPエンタテインメント福岡

| 授業科目名 | 身体感情表現 I | | 授業形態 / 必選 | 講義 | 必修 |
|---|--|----------|-------------|-------|-----|
| | 学則別表上表記 | 身体感情表現 I | 年次 | 1年次 | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 34回(68単位時間) | 年間単位数 | 4単位 |
| 科目設置学科コース | ■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース/俳優養成コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> | | | | |
| 担当講師 実務経歴 | 福岡の演劇劇団に所属。俳優として20年間活動。東京、福岡などで現在も活動中。舞台演劇・TVドラマ・TVCMに自ら出演の他、CMナレーションや民放番組ナレーションも担当。俳優としての表現力と舞台経験を活かした講義内容となっている。 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| <p>①シアターゲームやインプロワークショップを実施、都度フィードバックを行って感情表現力を高めていきます。</p> <p>②エチュードを行いながら、様々なシチュエーションでの適切な感情レベルを探っていきます。</p> <p>③喜怒哀楽を、身体・セリフの効果的な使い方と適切に伝えられるように表現していきます。</p> | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| <p>・表現の下地となる豊かな感情・喜怒哀楽を、他人が見て理解できるレベルで表現、またその強弱をも表現できるような技術を習得する。</p> <p>・喜怒哀楽以外の心の中にある様々な感情を、外に向かって表現する方法・技術を習得する。</p> <p>・演劇・舞台などにおける基礎を身につけ、人前で表現する羞恥心をとりのぞいていく。</p> | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------|--|
| 【前期】 1～4回目 | ・コミュニケーションワークショップ ・集中力を高める訓練 |
| 【前期】 5～8回目 | ・シアターゲーム(ウインクキラー、子供・家・台風など) |
| 【前期】 9～12回目 | ・滑舌訓練(レロレロ、ミランマーゲームなど) ・言葉を使った感情表現 |
| 【前期】 13～16回目 | ・エチュードを中心に、表情を使った感情表現 |
| 【前期】 17～19回目 | ・エチュードを中心に、表情を使った感情表現② ■前期試験:喜怒哀楽エチュード・感情が、表情や身体表現で他人に適切に伝わっているかチェック |
| 【後期】 20～23回目 | ・エネルギー放出 ・脚本演技 ※シアターゲームは引き続き実施 |
| 【後期】 24～27回目 | ・エネルギー放出2・ 脚本演技 ※様々な役を交代で演じていく |
| 【後期】 28～31回目 | ・他人から見た自分を研究・脚本演技 ※一つの決まった役を演じていく |
| 【後期】 32～35回目 | ・進級公演に向けて ※一つの作品を仕上げていく |
| 【後期】 36～37回目 | ・進級公演に向けて ■後期試験:脚本演技・適切な感情レベルの表現がきちんとできているかチェック |
| 評価方法 | S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する実技試験により「平常点 / 感情表現 / 感情コントロール / エネルギー放出 / 自己理解」の5項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | 演技に必要な要素のひとつに「リアリティ」があります。適切なシチュエーションには、適切な感情の表現レベルがあり、それがきちんと観客に伝わると「リアリティ」が生まれます。人の心を動かすためには、役者自身の心が動いていないといけません。そのために必要なレッスンは「身体感情表現」です。人に見せまいといた感情を外へ表現することができるようになります。頭で演じるのではなく、心で演じ、リアリティのある演技のできる役者を目指しましょう。 |
| 備考 | 都度用意した脚本を使用。 |

専門学校ESPエンタテインメント福岡

| 授業科目名 | 音声技法 I | | 授業形態 / 必選 | 講義 | 必修 |
|--|---|--------|-------------|-------|-----|
| | 学則別表上表記 | 音声技法 I | 年次 | 1年次 | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 34回(68単位時間) | 年間単位数 | 4単位 |
| 科目設置学科コース | ■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース/俳優養成コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □ | | | | |
| 担当講師 実務経歴 | 声優事務所「ぶろだくしょんバオバブ」所属。TVアニメ「恋姫†無双(主役・関羽役)」、TVアニメ「ななついろ★ドロップス pure!!(小岩井フローラ役)」など出演作品多数。アニメーション声優、洋画吹替声優、舞台、CMナレーションなどで、2000年より活動中、現在に至る。声優としての活動経験を活かした講義内容となっている。 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| ①「日本語の発声レッスン」や他資料などを使い、発声・発音の基礎を学びます。 ②表現の基礎となる、言葉に対する知識の幅を拡げ実践できるようにしていきます。 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・日本語共通語アクセントの理解。 ・発声、発音の基礎を理解し習得することを目指し、繰り返し取り組む姿勢を身に付ける。 ・一人一人の長所と短所を自ら知覚し、それを伸ばしながら活かす力を付けます。 | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------|--|
| 【前期】 1～3回目 | ・発声、発音を学ぶ。・身体づくり・課題：外郎売・共通語アクセントの学習・母音の無性化・鼻濁音 |
| 【前期】 4～7回目 | ・発声、発音を学ぶ。・身体づくり・課題：外郎売・共通語アクセントの学習・母音の無性化・鼻濁音 |
| 【前期】 8～10回目 | ・発声、発音を学ぶ。・身体づくり・課題：外郎売・共通語アクセントの学習・母音の無性化・鼻濁音 |
| 【前期】 11～13回目 | ・外郎売の暗唱・腹式呼吸・呼吸調節・発声基礎練習・調音練習 ・ライブウィーク発表 |
| 【前期】 14～17回目 | 夏休み明け確認{・腹式呼吸・呼吸調節・調音・母音・連母音・母音の無声化・鼻濁音(外郎売)・発声基礎練習} ■前期試験：前期内容の理解度を含めた実技テスト |
| 【後期】 18～20回目 | ・腹式呼吸・呼吸調節・調音母音の無声化・鼻濁音(外郎売)・発声基礎練習 ・個々の五十音の発声、発音チェック、課題徹底。 |
| 【後期】 21～24回目 | ・発声基礎練習・個々の五十音の発声、発音の課題徹底。・体力作り |
| 【後期】 25～27回目 | ・発声基礎練習・体力作り・課題文章などを使った練習。 |
| 【後期】 28～30回目 | 発声基礎練習・個人課題確認。 ■後期試験：全期通して理解力のチェックおよび作品読解を含む音読実技試験 |
| 【後期】 31～34回目 | ・発声基礎練習・個人課題振り返り、2年へ向け春休み課題周知 |
| 評価方法 | S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する実技試験により「平常点 / 発声・発音 / 呼吸調整 / 授業理解度 / 基礎訓練の取り組み方」の5項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | 言葉で表現する人にとって、発声・発音の訓練は欠かすことが出来ません。個々によりその方法は細かく違いますので、自分の体とメンタリティーと向き合い、プロの表現者として魅力のある言葉を話せる人を目指します。常に目的を持つことが大切です。基礎訓練が最も大切なので、一歩ずつ丁寧に取り組みましょう。 |
| 備考 | ・「日本語の発声レッスン」 ・「アクセント辞典」 |

専門学校ESPエンタテインメント福岡

| 授業科目名 | 言語感情表現 I | | 授業形態 / 必選 | 講義 | 必修 |
|---|--|----------|-------------|-------|-----|
| | 学則別表上表記 | 言語感情表現 I | 年次 | 1年次 | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 34回(68単位時間) | 年間単位数 | 4単位 |
| 科目設置学科コース | ■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース/俳優養成コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □ | | | | |
| 担当講師 実務経歴 | TVアニメ「ポケットモンスターBW」、映画「ザ・パンフィック」など出演作品多数。演技のジャンルに囚われず、テレビドラマや舞台、ナレーターなど2009年より声優として幅広く活動。現在は、ナレーター、ボイストレーナーを中心に活動中。声優としてだけでなく、様々な現場経験を活かした講義内容となっている。 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| ①感情開放とは何か、感情開放というものがいかに大切かを知る。 ②「演じるというのは一体どういうことなのか」「演技しない演技」「心を動かす」ことを学んでいく。 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・言葉を使って喜怒哀楽の感情を表現するために必要な技術を身につける。 ・感情開放を通じて、自分の演技をホンモノにする。 ・様々な感情を経験することで表現を豊かにする。 ・自分自身をさらけ出す意思と覚悟の習得。 | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------|--|
| 【前期】 1～3回目 | ・自己分析(羞恥心からの脱却) ・他者との同調、共鳴 |
| 【前期】 4～7回目 | ・スピーチ(主張、熱量、解放) ・感情の呼吸(笑い、泣き、怒り) |
| 【前期】 8～10回目 | ・空間把握(距離感、スケール、セルクル) |
| 【前期】 11～13回目 | ・基本的情緒(驚き、怒り、悲しみ、喜び、共感) |
| 【前期】 14～17回目 | ■前期試験:課題台本 |
| 【後期】 18～20回目 | ・台詞(感情の変化、移行) |
| 【後期】 21～24回目 | ・掛け合い台本(聴く、見る、伝える) |
| 【後期】 25～27回目 | ・エチュード(閃き、イメージ、再現性) |
| 【後期】 28～30回目 | ■後期試験:課題台本 |
| 【後期】 31～34回目 | ・振り返り ・強みと弱みの把握 |
| 評価方法 | S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/表現力/対話/課題への取り組み/感情の向き合い方」の5項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | 表現力とは「自分の考えや思いなどを相手に分かりやすく伝える力」の事です。イメージが出来ていたとしても伝える力を鍛えないとプロにはなれません。まずその第一歩として、不安・羞恥心・過剰なプライド・功名心・優越感・劣等感などでかんじがらめに縛られた心を自由に解き放ちましょう。自分自身に対して心を開いき、フリではなく、本当に心を動かす演技を一緒に目指しましょう！ |
| 備考 | ・都度用意した原稿を使用。 |

専門学校ESPエンタテインメント福岡

| 授業科目名 | 課題台本ゼミナール I | | 授業形態 / 必選 | 演習 必修 | |
|---|--|-------------|-------------|-------|-------|
| | 学則別表上表記 | 課題台本ゼミナール I | 年次 | 1年次 | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 34回(68単位時間) | 年間単位数 | 4単位 |
| 科目設置学科コース | ■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース/俳優養成コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | | 該当 | ■ | 非該当 □ |
| 担当講師 実務経歴 | 福岡の演劇劇団に所属。俳優として20年間活動。東京、福岡などで現在も活動中。舞台演劇・TVドラマ・TVCMに自ら出演の他、CMナレーションや民放番組ナレーションも担当。俳優としての表現力と舞台経験を活かした講義内容となっている。 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| <p>①年間3本以上の戯曲台本を使用し、役の心情や行動原理を理解すると共に、観客の目線を意識した演技を習得していきます。</p> <p>②年間2本の舞台公演を、他学科のPA・照明・ローディー・企画制作コースと合同で授業をすすめ、舞台制作における、板上での立ち居振る舞いや制作スタッフの動きなど学び、様々な方面から舞台というものを習得していきます。</p> | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・声優や俳優に必要な表現力を、身体を使用した演劇を通じ習得する。 ・台詞を読み上げ、身体を使って喜怒哀楽の感情を表現するために必要な技術を身につける。 ・演劇に必要な基礎としての発声・滑舌・姿勢・体幹を手に入れる。 ・脚本をしっかり読み取り、役の感情を的確に表現できる。 ・一舞台役者として、制作スタッフとの連携をもって舞台が制作、完成するということを理解して行動する。 | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------|---|
| 【前期】 1～3回目 | ・演劇基礎ワークショップ ・エチュード(一本橋、押し売り 言葉限定等)□ |
| 【前期】 4～7回目 | ・脚本を使用した演技(起承転結で進行する、分かりやすい戯曲) |
| 【前期】 8～10回目 | ・脚本を使用した演技(起承転結で進行する、分かりやすい戯曲) |
| 【前期】 11～13回目 | ・脚本を使用した演技(芸術志向の強い、分かりにくい戯曲) |
| 【前期】 14～17回目 | ・脚本を使用した演技(芸術志向の強い、分かりにくい戯曲) ■前期試験:脚本演技 |
| 【後期】 18～20回目 | ・脚本を使用した演技※進級公演候補作品を数作品 |
| 【後期】 21～24回目 | ・進級公演に向けて※本読みと配役決め |
| 【後期】 25～27回目 | ・進級公演に向けて※立稽古、衣装決め |
| 【後期】 28～30回目 | ・進級公演に向けて※通し稽古、照明、PAとリハーサル |
| 【後期】 31～34回目 | ・進級公演に向けて ■後期試験:脚本演技。 |
| 評価方法 | S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 台詞まわし / 姿勢・体幹 / 協調性 / 脚本解釈」の5項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | 観客に想いを伝えるためには、発声、滑舌などの基礎を身につけ、文脈に沿った演技ができているかが大切です。また演技の邪魔をしない、しなやかな身体としっかりした体幹が必要となります。基本的なワークショップからひとつずつ丁寧に学び、総合的な演技力を習得していきましょう。 |
| 備考 | 他都度用意した脚本を使用。 |

専門学校ESPエンタテインメント福岡

| 授業科目名 | ヴォーカル基礎知識 I | | 授業形態 / 必選 | 講義 | 必修 |
|--|---|-------------|-------------|-------|-----|
| | 学則別表上表記 | ヴォーカル基礎知識 I | 年次 | 1年次 | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 34回(68単位時間) | 年間単位数 | 4単位 |
| 科目設置学科コース | ■声優芸能科 声優養成コース/声優アーティストコース/俳優養成コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □ | | | | |
| 担当講師 実務経歴 | The 8th Music Revolution Hi-Gain大会でグランプリを獲得。・V3新人オーディション20thファイナリストに選出)そのポテンシャルの高さを披露。2012年には、Fukuoka Music Factoryの第6理ファイナルアーティストに選出。2016佐資年気球世界選手権応援ソングに「Life」が採用される。2020年配信弾き語りワンマンライブ「Voyage」を開催。現代のアーティストに必要な知識を盛り込んだ講義内容となっている。 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 発声練習の基礎を学び、トレーニングを繰り返し、実践で使えるように結びつけていく授業です。 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・どこの音域も均等にムラがなく出せるよう整えていく。 ・相対音感、リズム感、の強化 | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------|---|
| 【前期】 1～3回目 | ・ウォーミングアップ(ストレッチ、プレス、リップロール、ハミング・自分の声を知る) |
| 【前期】 4～7回目 | ・地声と裏声(地声強化向けの課題曲①) |
| 【前期】 8～10回目 | ・地声と裏声(裏声強化向けの課題曲②) |
| 【前期】 11～13回目 | ・地声と裏声(使応用編) |
| 【前期】 14～17回目 | ・相対音感(ハーモニー、コーラスワーク)・リズムトレーニング |
| 【後期】 18～20回目 | ・ヴォイス理論(共、声の種類について) |
| 【後期】 21～24回目 | ・ヴォイス理論(それぞれの名称、働き) |
| 【後期】 25～27回目 | ・声の使い分け(いろいろな声を聞いてみよう) |
| 【後期】 28～30回目 | ・声の使い分け(歌ってみよう) |
| 【後期】 31～34回目 | ・自分の歌い方を知る(keyチェンジ、アレンジ、やりたい表現のための技術) |
| 評価方法 | S(90点以上)/A(80点以上)18(70点以上)/C(60点以上)1D(60点未満)E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する実技試験により「高量着き/ズム/プレス/集中力」の5項目の到達度を総合的に評価する、 |
| 学生へのメッセージ | まずは、自分の理想の声、憧れ、などイメージをしっかりと持ってください。その上で必要だと思うモノ、事、を学んで下さい。そのためのお手伝いを精一杯頑張ります。 |
| 備考 | 必要に応じて、CDや楽譜などを使用。 |

専門学校ESPエンタテインメント福岡

| 授業科目名 | ヴォーカル I | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 必修 |
|---|--|---------|-------------|-------|-------|
| | 学則別表上表記 | ヴォーカル I | 年次 | 1年次 | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 34回(68単位時間) | 年間単位数 | 2単位 |
| 科目設置学科コース | ■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース/俳優養成コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | | | 該当 ■ | 非該当 □ |
| 担当講師 実務経歴 | KAN、浜崎あゆみ、林原めぐみなど様々なアーティストのバックコーラスやレコーディング制作に携わる。23歳の時にアニメセイバーマリオネットact5エンディング「風の詩を聴きながら」でメジャーリリース。その後ヴォイストレーナーとして多数アーティスト(元生徒はDAIGO、太田在etc)の指導を行う。上記の経験を活かし楽曲制作並びに音楽理論の実技指導を行う。 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| ①歌唱のための基本技術(呼吸・発声・体の使い方)を学びます。 ②課題曲・自由曲を使って歌唱発声の強化・リズム感の強化をはかります。 ③上記で使用した楽曲を通じ、音感、ハーモニー感を学びます。 ④各コマで個人にフォーカスした時間を取り、弱点克服、長所強化をはかります。 ⑤1月のヴォーカルコンテストに向けてステージングの技術を学びます。 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 正しい発声、発音、呼吸、体幹を身に付け、表現力と共に歌唱全体のクオリティを上げる。 オーディション等、今後、自身の武器として歌唱を使えるようにする。 ハーモニーなどを通じ、チームワークや調和を感じ協調性を育てる。 | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------|--|
| 【前期】 1～3回目 | 基本発声(音感、リズムトレーニングなど)。自由曲を各々選定し歌唱実技。問題点を洗い出し、今度のトレーニングなどを方向性を説明。 |
| 【前期】 4～7回目 | 基本発声(リズムトレーニングなど)。課題曲①歌唱実技。音楽の基本となる要素のうちリズムにフォーカスしてリズム感を身に付ける。 |
| 【前期】 8～10回目 | 基本発声(ハーモニー、母音・子音の発声)。ミュージカル曲①歌唱実技。メロディーの中で言葉を立たせる方法を学ぶ。 |
| 【前期】 11～13回目 | 基本発声(呼吸、音感、リズム、ハーモニーなどを総合して)。前期1～4週で取り扱った自由曲を再度歌唱し、当初からの違いを明確に感じる。また、その時にできなかった部分をさらに深めて修得する。 |
| 【前期】 14～17回目 | 基本発声(総合)。課題曲②歌唱実技。表現力強化。 ■前期試験:前期で使用した楽曲を各々選定し、歌唱実技発表。リズム、歌唱の楽譜提示、実演。 |
| 【後期】 18～20回目 | 基本発声(総合)。12月のヴォーカル大会の楽曲選定。課題曲③歌唱実技。表現、パフォーマンス強化。 |
| 【後期】 21～24回目 | 基本発声(総合)。12月のヴォーカル大会の楽曲の歌唱実技。表現、ステージング察。 |
| 【後期】 25～27回目 | 基本発声(総合)。12月のヴォーカル大会の楽曲のクオリティ強化。総合的なステージングの考察。 |
| 【後期】 28～30回目 | 基本発声(総合)。ミュージカル曲②歌唱実技。総合的なステージングの考察。実演。 |
| 【後期】 31～34回目 | 基本発声(総合)。年間の復習、総まとめ。 ■後期試験:後期で使用した楽曲の歌唱実技発表。リズム、歌唱の楽譜提示、実演。 |
| 評価方法 | S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「ハーモニー / 発声 / 表現 / リズム / パフォーマンス」の5項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | 現代の声優にとって、歌を歌うことはもはや必須のスキルとなっております。演技の勉強から歌に活かせることもありますし、歌から演技に活かせることもたくさんあります。シンガーとしてだけでなく、総合的なパフォーマーとして成長できるようにサポートしていきますので、一緒に頑張ってください。 |
| 備考 | 都度必要な楽曲、リズム・ハーモニー譜を使用。 |

専門学校ESPエンタテインメント福岡

| 授業科目名 | 殺陣パフォーマンス I | | 授業形態 / 必選 | 演習 | 必修 |
|--------------|--|------------|-------------|-------|-----|
| | 学則別表上表記 | ボディサイエンス I | 年次 | 1年次 | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 34回(68単位時間) | 年間単位数 | 4単位 |
| 科目設置学科コース | ■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース/俳優養成コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □ | | | | |
| 担当講師 実務経歴 | 福岡を拠点に幅広いダンスジャンルで活躍中。2013年より某アーティスト専属バックダンサーを経て、AKB48、湘南乃風、倉木麻衣らと共に共演。現在はPVやCMに出演し、またミュージカル「刀剣乱舞」にも参加している。殺陣、バックダンサー、ミュージカルダンサー、振付師、ディレクターとしての活動経験を活かした講義内容となっている。 | | | | |
| 授業概要 | <p>①筋肉トレーニング、ストレッチから始まり、自分の身体を使って感情を表現できるよう訓練していきます。</p> <p>②舞台やミュージカルに必要なアクションや殺陣を学びます。小道具の使い方や衣装の着付けについても学習していきます。</p> | | | | |
| 到達目標 | <p>・小作品やPV作品、舞台作品での身体表現技術を習得する。</p> <p>・ストレッチ、筋力を強化するとともに、殺陣の基本やバランスを習得し、身体の使い方・リズム感を養う。</p> <p>・舞台、ミュージカルやライブステージで演舞できるよう、音楽に合わせた殺陣やアクションのコンビネーションを用いて、自己表現をする。</p> | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------|---|
| 【前期】 1～3回目 | ・ストレッチ・筋肉トレーニング・殺陣小道具の使い方 |
| 【前期】 4～7回目 | ・筋肉トレーニング・体幹トレーニング・アクション①・殺陣基本 |
| 【前期】 8～10回目 | ・殺陣小作品① |
| 【前期】 11～13回目 | ・殺陣小作品② ・衣装着付け ・殺陣を使った小作品発表会→ライブウィーク発表 |
| 【前期】 14～17回目 | ・ミュージカルアクション小作品① ■前期試験: 役3分間の殺陣基本や実践を発表する。 |
| 【後期】 18～20回目 | ・殺陣復習 ・ミュージカルアクション小作品② |
| 【後期】 21～24回目 | ・ミュージカルアクション小作品③ ・フィジカルトレーニング |
| 【後期】 25～27回目 | ・作品精度練成 ・衣装着付け ・ミュージカルアクション小作品発表会→ライブウィーク発表 |
| 【後期】 28～30回目 | ・発表反省、殺陣復習 |
| 【後期】 31～34回目 | 殺陣復習、自由演技 ■後期試験: ミュージカルアクションやフォーメーション、自己表現の発表。 |
| 評価方法 | S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 体幹と個性 / 集団創造力 / 間 / 脚本理解力」の5項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | 表現をする上で、土台となる身体を形作るのは非常に重要です。 殺陣を通してフィジカルを鍛えながら、自己の技術や魅せ方を学び、相手との呼吸や間合いを感じて成長して行きましょう。 作品と一緒に作っていくことの難しさ、楽しさを学び、集団、個人問わず表現出来るようになりましょう。 |
| 備考 | 都度楽曲CDを使用。また小道具として、殺陣用刀・竹刀を使用。 |

専門学校ESPエンタテインメント福岡

| 授業科目名 | ダンス基礎 | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 必修 |
|--------------|--|-------|-------------|-------|-------|
| | 学則別表上表記 | ダンス基礎 | 年次 | 1年次 | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 34回(68単位時間) | 年間単位数 | 2単位 |
| 科目設置学科コース | ■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース/俳優養成コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | | | 該当 ■ | 非該当 □ |
| 担当講師 実務経歴 | ダンス歴 17年、ダンスインストラクター歴 8年。 ダンスチーム Mool(モール)に所属。福岡を拠点に AKB48、KAZU(BROWN SUGAR)、比花知春、Alice、fumika 等のバックアップダンサーをつとめる。HIPHOP、JAZZなど幅広いジャンルで活動中。 上記のダンサーとしての経歴を活かした、幅広い表現力を養う講義内容となっている。 | | | | |
| 授業概要 | <p>①ダンスに必要な柔軟性・基礎体力を強化しながら、リズム感を養っていきます。</p> <p>②基本的なステップと動きを反復練習します。</p> | | | | |
| 到達目標 | <p>・進級公演や舞台脚本内でのダンス表現技術を習得する。</p> <p>・ストレッチ、筋力を強化するとともに、ダンスの基本ステップ、バランス、アイソレーションを習得、身体の使い方・リズム感を養う。</p> <p>・舞台、ミュージカルやライブステージで踊れるよう、ターンや基本ステップのコンビネーションを用いて、自己表現をする。</p> | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------|---|
| 【前期】 1～3回目 | ・ストレッチ・アイソレーション・リズムトレーニング ・筋力強化・体力強化 |
| 【前期】 4～7回目 | ・ストレッチ・アイソレーション・リズムトレーニング ・筋力強化・基本ステップ |
| 【前期】 8～10回目 | ・HIPHOP基礎を中心に ・アイソレーション、基本ステップ |
| 【前期】 11～13回目 | ・HIPHOP基礎を中心に ・基本ステップを含んだ振り付けを覚える |
| 【前期】 14～17回目 | ・基本ステップを含んだ振り付けを覚える② ■前期試験:アイソレーションや基礎ステップの2分ほどの振り付けを覚え発表する |
| 【後期】 18～20回目 | ・JAZZ基礎 ミュージカル等で必要なJAZZの要素を習得する |
| 【後期】 21～24回目 | ・HIPHOP応用 ・JAZZ応用 |
| 【後期】 25～27回目 | ・舞台発表に向けて※ダンスの振り入れ |
| 【後期】 28～30回目 | ・振り付けに加えて、自己表現やフォーメーションレッスン |
| 【後期】 31～34回目 | ・フォーメーションレッスン ■後期試験:応用ステップを含んだ3分ほどの振り付けを覚え、自己表現を交え発表する |
| 評価方法 | S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / アイソレーション / リズム感 / 基本ステップ / 自己表現」の5項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | 1年生では基本となるアイソレーションを中心にステップを覚えていきます。 舞台やミュージカル、ライブステージなど様々な分野で必要となるリズム感や身体を使っての表現力を磨いていきましょう。 そのためにも、身体能力の向上を目指して日々トレーニングしていきましょう。 |
| 備考 | 様々な楽曲の音源を使用 |

専門学校ESPエンタテインメント福岡

| 授業科目名 | 演技身体訓練基礎 | | 授業形態 / 必選 | 演習 | 必修 |
|--|--|-------------|-------------|-------|-----|
| | 学則別表上表記 | 表現パフォーマンス I | 年次 | 1年次 | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 34回(68単位時間) | 年間単位数 | 4単位 |
| 科目設置学科コース | ■声優芸能科 俳優養成コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> | | | | |
| 担当講師 実務経歴 | 福岡の演劇劇団に所属。俳優として20年間活動。東京、福岡などで現在も活動中。舞台演劇・TVドラマ・TVCMに自ら出演の他、CMナレーションや民放番組ナレーションも担当。俳優としての表現力と舞台経験を活かした講義内容となっている。 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| <p>身体訓練。身体コントロール訓練。身体からのキャラクターへのアプローチ。 身体による作品制作への可能性。これらの4つを主題を軸に授業を行っていく。</p> | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| <p>・作品世界により求められる身体表現の違いをきちんと理解し、積極的にアプローチ出来る役者になる。 ・役作りの上また舞台演出、映画監督とのディスカッションの中で、感情面のみでなく身体面でも自分の理想とし他者から求められる表現ができる演者になる。</p> | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------|---|
| 【前期】 1～3回目 | ・肉体訓練、カウントウォーク① |
| 【前期】 4～7回目 | ・肉体訓練、カウントウォーク② |
| 【前期】 8～10回目 | ・肉体訓練・キャラクター別身体表現考察 |
| 【前期】 11～13回目 | ・肉体訓練・作品別身体表現考察 |
| 【前期】 14～17回目 | ■前期試験：絵本作品を使った短編制作・発表 |
| 【後期】 18～20回目 | 肉体コントロール訓練 |
| 【後期】 21～24回目 | 肉体コントロール訓練・キャラクター別身体表現考察② |
| 【後期】 25～27回目 | ・肉体コントロール・作品別身体表現考察② |
| 【後期】 28～30回目 | ノンバーバル短編作品制作 |
| 【後期】 31～34回目 | ■後期試験：ノンバーバル短編作品発表 |
| 評価方法 | S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。学期末に実施する実技試験により「平常点/身体コントロール/表現力/想像力/観察力」の5項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | 役者はまず身体が資本です。どんなに素晴らしい想像力あり、役作りが出来てもそれを表現す身体の準備が出来ていなければ魅力は半減してしまいます。それは映像も舞台も同じです。この授業では基本的な身体作りと、身体を使っての芝居へのアプローチの仕方を学んでいきます。 |
| 備考 | 毎回、体を動かす為動ける格好で参加をお願いします。 |

専門学校ESPエンタテインメント福岡

| 授業科目名 | 俳優基礎 I | | 授業形態 / 必選 | 講義 | 選択 |
|--------------|--|--------|-------------|-------|-----|
| | 学則別表上表記 | 俳優基礎 I | 年次 | 1年次 | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 34回(68単位時間) | 年間単位数 | 4単位 |
| 科目設置学科コース | ■声優芸能科 俳優養成コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> | | | | |
| 担当講師 実務経歴 | バラエティー番組のMCやラジオパーソナリティー、様々なイベントへの出演等、お笑い芸人として15年間活動。現在は、イベントMCを中心に活動しながらラジオ番組にも出演している。声優や俳優をゲストに招いたイベントにも多数出演しており、これらの経験を活かした講義を行う。 | | | | |
| 授業概要 | <p>①トークの技術を磨きながら、役者として、トークイベントや、バラエティ番組に出演した際の表現方法を学ぶ。</p> <p>②ラジオ実習において、自分に合った表現方法を模索する。</p> | | | | |
| 到達目標 | <p>・トークイベントや、トーク番組、ラジオ番組に出た際の自身に適した表現方法を模索し、外部に向けた話し方、自己表現の仕方を身に付ける。演習とフィードバックを繰り返し行う事で、自身の理想の表現に近づける。</p> <p>・発声や声のトーン等、人前で話すために必要な要素を学び、自身の表現に活かす。</p> | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------|--|
| 【前期】 1～3回目 | トークをする際の心構え 自身の表現力の確認 |
| 【前期】 4～7回目 | 自己表現トレーニング① 発声やトーンを意識して話す |
| 【前期】 8～10回目 | 自己表現トレーニング② 一対一でのテーマトーク ※撮影後フィードバック |
| 【前期】 11～13回目 | 自己表現トレーニング③ 複数人でのテーマトーク ※撮影後フィードバック |
| 【前期】 14～17回目 | ■前期試験:テーマトーク ※撮影後フィードバック |
| 【後期】 18～20回目 | ・ラジオパーソナリティー実習(外部ラジオスタジオにおいて)・プレゼンテーション |
| 【後期】 21～24回目 | ・ラジオパーソナリティー実習(外部ラジオスタジオにおいて)・プレゼンテーション |
| 【後期】 25～27回目 | ・ラジオパーソナリティー実習(外部ラジオスタジオにおいて)・プレゼンテーション |
| 【後期】 28～30回目 | ・ラジオパーソナリティー実習(外部ラジオスタジオにおいて)全10回放送予定。 |
| 【後期】 31～34回目 | ・ラジオパーソナリティー実習 ■後期試験 |
| 評価方法 | S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する実技試験により「トーク技術 / 表現力 / 対応力 / 構成員 / 創造力」の5項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | 現時点での自身の表現力をしっかり認識した上で、様々な事に取り組む必要があります。 撮影した映像をしっかりと確認することで、客観的に自身の表現と向き合います。それにより、それぞれが抱える課題が見えてきます。 理想の表現を実現させるために、実践&フィードバックを重ねて、より多くの気付きを得ましょう。 |
| 備考 | 都度用意した原稿を使用 |

専門学校ESPエンタテインメント福岡

| 授業科目名 | 映像演技 I | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 選択 |
|--------------------------------------|--|--------|-------------|-------|-----|
| | 学則別表上表記 | 映像演技 I | 年次 | 1年次 | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 34回(68単位時間) | 年間単位数 | 2単位 |
| 科目設置学科コース | ■声優芸能科 俳優養成コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> | | | | |
| 担当講師 実務経歴 | ドラマAD、音楽系マネージャー歴3年、俳優系マネージャー歴6年、映画アシスタントプロデューサー、タレントマネジメント歴23年経験。その経験を活かし俳優養成コースにおける実践指導を行う。 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 映像制作の基本システムを学び、それに適した基本的な演技テクニックを学ぶ。 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 基礎的な映像演技を学び、アドリブや個性的で豊かな表現力を身につける。 | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------|---|
| 【前期】 1～3回目 | 専門用語から学ぶ映像制作のシステムについて |
| 【前期】 4～7回目 | 専門用語から学ぶ映像制作の実習 |
| 【前期】 8～10回目 | 予告編撮影実習 |
| 【前期】 11～13回目 | ミニドラマ撮影実習 |
| 【前期】 14～17回目 | ミニドラマ撮影実習 |
| 【後期】 18～20回目 | CM撮影 |
| 【後期】 21～24回目 | MV撮影 |
| 【後期】 25～27回目 | MV撮影 |
| 【後期】 28～30回目 | MV撮影 |
| 【後期】 31～34回目 | MV撮影 |
| 評価方法 | S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する実技試験により「台詞回し/表情 /表現力 / アドリブ力/ 適応力」 の5項目の到達度を総合的に評価する。□ |
| 学生へのメッセージ | 作品への参加意識と楽しさを学んで頂けたら幸いです。 |
| 備考 | 業界用語集と都度準備したシナリオや絵コンテを使用 |